



大森市長(右)から賞状を贈られる受賞施設の代表者

の充実を図る国の総合特区事業の一環で、14年度にスタート。17年度は158事業所が参加し、各利用者について食事や着替えに介助が必要か、寝返りができるかなど13項目で改善度を点数化して対象を決めた。

19日に市役所で表彰式があり、大森雅夫市長が「各自自治体が健康寿命の延伸に取り組む中、皆さんの活動は模範となる。今後も介護サービス全体をけん引してほしい」とあいさつ。各事業所の代表者に賞状と奨励金10万円を手渡した。

受賞者を代表し、介護サービス業・創心会(倉敷市茶屋町)の河崎崇史執行役員が「受賞に恥じないサービスを提供していくとともに、オール岡山

利用者の機能改善 デイサービス 10事業所表彰

市が奨励金

岡山市は、通所介護(善インセンティブ事業)の利用者に対して、日業で、2017年度日常生活機能の改善で成分の10事業所を選んだ。果を上げた施設を表彰する「デイサービス改善」同事業は、在宅介護

で福祉の向上に努めていきたい」と述べた。

表彰された事業所は次の通り。

- 創心会リハビリ倶楽部(東区可知)
- 津高寮デイサービスセンター(北区津高)
- デイサービスケアビル
- 町建部上)▽デイサービスはしめの一歩(北区下中野)▽デイサービス笠井の里(北区畑)
- ▽北ふれあいデイサービスセンター(北区谷万成)
- ▽デイサービスセンターアルフィック(東区東川原)
- ▽デイリハセンターおひさま(北区下中野)
- ▽ぬくもりの里(北区青江)
- ▽ニチイデイサービスセンター(瀬戸)
- 中央(東区瀬戸町瀬戸)
- (内田光祐)